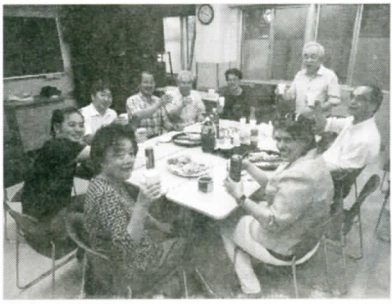
世田谷ボロ市に店を！



6月23日（土）午後、東京・世田谷区の東京ロシア語学院で日本ユーラシア協会世田谷支部の総会が開かれました。

総会には10名が出席。1年間の支部活動を振り返り、ロシア語講座の定期開催やヨールカ祭、原発の問題や航空機の安全とJAL「再建」の講演会実施、東京ジャーミイ見学会などの活動について意見を交わしました。

新年度の活動でも、講座や講演会、見学会、ヨールカ祭などの企画は継続、充実させてゆく事が提案されました。

方針についての討議の中で、支部副会長で尺八演奏家の大由鬼山さんから「音楽公演はクラシックや民族音楽だけでなく、現代音楽、ジャズやロックなどもやりたい。それができるミュージシャンはいるはず。」との意見が出されたほか、「世田谷ボロ市やフリーマーケット等に参加し、販売や文化アピールをしたい」「機関紙活動を充実したい」「料理教室の復活を」等の提案があり、それらの意見を含めて新年度の方針が諒承されました。

世田谷支部

役員に変動はなく、安部恒三会長、大由鬼山副会長、八田圭子副会長、川手啓史会計が前年度に引き続き選出されました。

総会には日本ユーラシア協会の木佐森雅道理事長より連帯のメッセージが寄せられ、調布狛江支部の白井亮さんがゲスト参加し挨拶しました。

総会のあと、交流会＝写真＝が行われ、大由鬼山さんが尺八を演奏。世田谷支部らしい文化的な交流会となりました。初参加の新入会員のマリーナ・マリシェヴァさんは、「とても楽しかった。ありがとうございました」と感想を語りました。

世田谷支部　石川ゆたか